

第2回広報委員会次第

令和3年4月19日（月）

1 委員長開議宣告

2 議 題

（1）議会だより第245号原稿の確認について

（2）第1回広報委員会の日程について

（3）その他

3 委員長閉会宣告

令和3年
5月1日

No.245

松戸市議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



松戸市・ホワイトホース市

姉妹都市交流

松戸市とオーストラリアのホワイトホース市が姉妹都市になって50年がたちました。大切に育んできた50年の友好を、未来へとつなげます！

市役所正面玄関前の花壇



市議会トピックス

- 令和3年度松戸市一般会計予算を修正
※詳細は3面に記載しています。
- 新焼却施設建設に関する決議を可決

新焼却施設建設に関する決議

令和3年度一般会計歳入歳出予算において、計画上予定されていた新焼却施設建設関係経費の計上がなく、これについて執行部から、ごみ処理の広域化及び施設の集約化を検討するために検討期間を取って稼働時期を延期させるという説明がなされた。

新焼却施設建設によるごみの処理の確実な履行は、市民生活における最重要事項であり、欠くことのできない行政サービスである。

平成31年3月定例会の予算審査特別委員会において市長から示された見解でも、本市が優先的に取り組む3事業の一つとしてこの新焼却施設建設が位置付けられており、計画に基づいて着実に事業が進められることを共通認識としていたが、広域化という新たな課題への取り組みとそれに伴う事業期間の延長は、その共通認識を超える方針転換とも取り得るものである。

本市は、和名ヶ谷クリーンセンターとクリーンセンター2施設体制から、1施設体制へと焼却施設の集約化を進めている最中である。さらに現状ではクリーンセンターの稼働停止により、新焼却施設が稼働するまでの間、本市の燃やせるごみの処理の一部を近隣市にご協力いただき処理をお願いしており、早急の新焼却施設建設を進める必要がある。

先の教育環境常任委員会において、市長はこの問題に対して「市民の生活を守っていくことが一番大事な原点であり、スピード感をもって新焼却施設整備基本構想を取りまとめると、早急に整備を進める」との認識を示された。

従って、執行部においては、本市のごみの適正処理について、早期に新焼却施設整備基本構想を取りまとめ、着実に事業を推進することを求めここに決議する。

千葉県松戸市議会

ホワイトホース市は、オーストラリア南東のビクトリア州の都市。州都メルボルンから15km東に位置していて、東京からアークセシスという松戸市とよく似た立地です。市の面積は松戸市とほぼ同じ64km²。人口は約17.8万人、松戸市の約1/3です。

●問い合わせ先

姉妹都市交流50周年記念事業実行委員会事務局
(文化観光国際課内)
TEL 047(366)7327



姉妹都市50周年
紹介ページ

3月定例会

令和3年3月定例会(2月22日から3月23日まで開催)は、市長・教育長の施政方針等に対する各会派の代表質問を行いました。

初日には、市長から提出された専決処分1件の報告を承認し、教育委員会教育長の任命議案1件、教育委員会委員の任命議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案2件それぞれに同意しました。

このほか2年度補正予算案9件を可決し、一般議案1件に同意しました。また市長から提出された3年度予算に関する議案11件や、条例などの一般議案13件、市民の方から提出された陳情2件を、それぞれの委員会において審査しました。

3年度一般会計予算を審査する過程では、市長の提案する「庁舎管理事業」について、一部の予算措置理由が認め難いとして委員から修正案が提出され、審査の結果、修正案を可決しました。

最終日には、これらの案件のほかにも市長から追加議案が提出され、2年度補正予算案1件を可決し、固定資産評価委員の選任議案1件に同意しました。また議員提出議案2件を上げ、採決しました。

(2面に審議結果、3面に予算審査の主な質疑、4面に討論を掲載)

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

3月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、下記のとおり感染拡大防止策を図りました。

- 本会議では採決時を除き、議員は定足数に配慮し半分ずつ交代で出席し、執行部の出席者数にも配慮をお願いしました。
- 会派代表質問および個人質問は発言時間を通常の半分に短縮しました。議案質疑は質疑時間を通常30分から10分に短縮し、予算討論は通常割り当てられた時間の83%に短縮しました。

(令和3年3月25日現在)

令和3年度当初予算

会 計 名		予 算 額
一般	総務費	127億4,487万1千円
	民生費	835億8,959万6千円
	衛生費	209億7,681万2千円
	労働・農林水産業費	4億4,885万9千円
	商工費	9億7,009万2千円
	土木費	142億8,045万7千円
	消防費	62億8,369万4千円
	教育費	140億5,218万6千円
	その他	133億6,343万3千円
	計	1,667億1,000万円
特別	国民健康保険	42億2,313万2千円
	松戸競輪	193億2,747万5千円
	公設地方卸売市場事業	1億1,649万9千円
	駐車場事業	1億5,900万2千円
	介護保険	379億1,043万9千円
	後期高齢者医療	67億 972万5千円
	新松戸駅東側地区 土地区画整理事業	10億 414万2千円
計	1,079億9,541万5千円	
企 業	水道事業	23億7,313万3千円
	病院事業	282億2,488万4千円
	下水道事業	201億6,147万6千円
	計	507億5,949万円
合 計		3,254億6,490万5千円

予算規模は、前年度比 75億317万3千円 2.4%増

多様な活動に活用するべき体育会を地域に定着させるため、市民体育会や実行委員会を設置し、住民と町会、共有し自治会合の場とする。令和、自衛隊連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、NPO協議会等にも加して、戸別による行政も含めた検討をしていく。戸別にも検討推進会議を設置し、情報共有し検討を進める。要の担い手は、まだ地域活動型の修繕士、企業等へ広く声掛けするとともに、高齢者分野で地域へ把握する生活支援コーディネーターとも連携する。また、発掘し、多様な参加につなげる。

【図】 目標と今後の供給を前提とした、目標となる、目先として来年度、程度の接種期間を想定している。

専用デジタル教科書を導入し、活用している。活用対象が非常に高く、児童生徒からも、音声や動画等々を活用する上により授業がかなりやすくなったとの声があった。また授業準備にかかると時間が短縮され、業務改善等ではなく、児童生徒と接する時間により確保されることも考えられる。3年度は、デジタル教科書を整備し、児童生徒の興味関心を高め、学力向上につなげるよう研修、研究していくとしていく。

予算審査特別委員会の審査から

令和3年度予算(11会計)を可決

(名簿は2面に掲載)

予算審査のあらまし

予算審査特別委員会

2/22	3/3	3/12	3/15	3/17	3/19	3/23
市長が予算 議案を提出	予算審査特別 委員会を設置		予算審査特別委員会が審査			審査結果を報告 質疑・討論・採決

一般会計予算の修正案を可決しました

一般会計予算の審査の過程において、

- ・市役所機能再編整備基本計画策定業務委託
- ・バーチャル神戸市構築設計委託
- ・習い事送迎支援
- ・まちづくり基本構想推進業務
- ・神戸都市計画事業新神戸駅東側地区土地区画整理事業
特別会計繰出金を削除する修正案と

採決の結果、多数意見をもって両修正案の共通する部分である市役所機能再編整備基本計画策定業務委託 3,000 万円を削除する修正案を可決しました。

●可決した修正案の提案理由

- ・大型事業の優先順位やスケジュール、事業費の総額、財源等が示されず、今この事業を進めるべきかを判断する材料が乏しく認めたい。
- ・庁舎の建て替えについて、立地は決定しておらず、あくまでも市役所機能についての基本計画策定とすることで相模田地区が前提とのかくくな姿勢が感じられた。庁舎の建て替え問題はこれまでも議会において議論してきたが、審議を尽くしたというところまで至っていない。

總務費

問 バーチヤル松戸市に委託の内容と本事業を実施

民生費

設計 問 習い事送迎支援につ
なけ 放課後児童クラブの児童が

土木

問 新拠点ゾーンにお
区画整理事業実施のメリ

松戸都市計画事業

土地整理事業

教育費

図 デジタル教科書を活用するための対応方法について伺う。

金華醫院事業

図 令和2年11月臨時会において全自動PCR検査装置の追加購

予算討論

令和3年度予算案について、7人の議員が定例会最終日に討論を行いました。

ここでは、会派の討論を掲載します。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、討論時間を通常割り当てられた時間の83%に短縮することを議会運営委員会が決定しました。

割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

松政クラブ

令和3年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計の修正案について、予算審査特別委員会において、市役所機能再編整備基本計画に定業務委託を削除する修正案を提出した。本事業は、新拠点ゾーン整備を前提としていることが示唆されているが、市庁舎建て替えにおいて優先すべきは、最期の期間で、耐震性に問題のない建物により、来庁者や職員の安全を確保することである。新拠点ゾーンに移転することを前提条件とした場合には、新拠点ゾーン整備が完了するまで、耐震性に問題のある現庁舎を定用するを得ない。新拠点ゾーン整備を定用するものではないが、優先順位をえた場合、新拠点ゾーン整備という手段を優先すること、市庁舎建て替えが遅れてしまうことは本末転倒である。また平成31年3月の予算審査特別委員会において、市長と議会との間で意図している大型事業は、市庁舎建て替え、新松戸駅東側地区土地区画整理、新拠施設建設の3事業である。市庁舎建て替えは、新拠点ゾーン整備と切り離すべきであり、新拠点ゾーン

公明党

令和3年度一般会計の修正案に反対し、修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計に算へる賛成理由は4点あり、1点目として、新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種機材の確保が急務であり、また課題のワクチン接種機材が不足していること、2点目として、本市が本事業でも対応可能であること、3点目として、本市に小学校体育館での集団接種に係る諸問題を解決し、予防接種の安全かつ着実な実施を期待する、4点目として、賑わいのある街の創出に努力されていることである。市役所庁舎移転建て替えを含む新拠点ゾーンの整備こそが、松戸駅周辺の賑わいを取り戻すための原動力となるものと確信し、市税収入増に貢献するものと確信し、3点目として、重層的な支援体制整備の構築を評価する。オール松戸で多世代まるごと居場所づくりを進める他、ひきこ

市民クラブ

令和3年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算は、本来であれば既にあるはずの次期市庁舎総合計画と都市計画マスタープラン等の策定がなされておらず、今後の本市のあるべき姿やまちづくりの指針が示されない中、市長が目指す本市成長のための施策展開について、場当たり的なことなことを持続的に進めていく道筋をどうとっているのか、財政状況を認識した上で予算にどう反映しているのに着目し審査に臨んだ。

総務費では、市役所機能再編整備基本計画に定業務委託3千万円を削除する修正案に賛成する。理由として、将来見込まれる市役所機能を模倣し理するための市民アンケート等を実施しながら、今後進める新庁舎建設に活用することのことが、新拠点ゾーンへの庁舎移転ありきで

日本共産党

令和3年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、国民健康保険、高齢者介護保険、後期高齢者医療、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、その他の特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計では新拠点ゾーンへの市庁舎移転について、市民の意向を踏まえて聞くことしないかという姿勢は異常である。大型事業の全体見通しを示されず、財政見通しの信ぴょう性も揺らぐ事態である。市長が進める事業には粘着がある。こんな勝手な話はない。

民生費では共働きの子育て支援日本一の獲得、維持が目的化したような施策が次々出される一方、一番わかりやすいのが、子どもへの健やかな育とそ環境づくりより日本一のための教育を積み上げと見えてを意図した施策であると指摘する。教育費では、GIGAスクールもかり続けた1CT化に毎年3億5千万円もかり続ける一方、松戸市第三小学校等の壊れたプールはそのままである。莫大な費用がかかる大型事業のスタートを切り「共働

立憲民主党

令和3年度松戸市都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、その他特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計では、総合計画と公共施設再編整備における個別設計計画の策定が遅れる中、これらの計画の下に行うべき大型事業が先行して行われようとしている。コロナ禍の影響で市財政の厳しい現状にもかかわらず、事業費の総額や財源など詳細を明らかにしないまま大型事業を進めることは問題だと指摘せざるを得ない。一方で市民生活に不可欠な新拠施設建設を理解しがたい理由として後回しにする姿勢も大問題である。将来を見通した事業の進め方も優先順位をつけ、一部の事業の凍結も含め改めて検討すべきとし、予算審査特別委員会では市役所機能再編整備基本計画に定業務委託、パブリック松戸市構設計画設計委託、習い事送迎支援、まちづくり基本構想推進業務、新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に提出した事業を削除する修正案を提出した。市役所機能再編整備基本計画に定業務委託以外の削除は否決されたが、修正部を除外し一般会計予算には、多くの市民に待望する新型コロナウイルス感染症予防接種業務を含むいた苦渋の決断で賛成する。

政策実現フォーラム

令和3年度松戸市都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、その他特別会計および各企業会計に賛成する。

本市のプライマリ・バランスはマイナスであり、コロナ禍よりさらに厳しい財政状況が継続する考えられるため、財政上により慎重な判断が必要と考え、

市立東松戸病院の

あり方について

関係部課と協議の場を設け、松戸市

病院運営審議会の答申に「近き大計画
数値目標のある、機能計画の達成された病
院」を模範の四つの機能と役割。直近で検
定されている他の各課題を整理し、多
様な経営形態にある今後の在り方について
これらに対して示しているところである。
令和３年３月例会の健康福祉常設委員
会において、「報告した」と考えていて、今
また議論から再三三の質問にかけて、今
定期会まで何を示すことができたかたつ
とは、反省点がある。

© 2000 Blackwell Science Ltd *Journal of Internal Medicine* 247: 391–397

○ 新焼却施設基本構想策定等業務において、外部委託した成果物と新焼却施設の概算費用について伺う。

○ 廃棄物処理施設建設事業は、一般的に数十年に一度の事業であるため、経費が豊富なコンサルタントに委託している。本委託では、本市のごみ処理や体制

公明党
織原 正幸

地方創生臨時交付金を活用し①自

立相談支援センター相談窓口の体制強化
②新生児臨時給付金の延長もしくは育児用品提供事業の実施③緊急事態宣言に伴い支給される国・県の一時支援金等の制度の対象外となる中小事業者へ市独自の支援策を講じる等について同。

支拂算を請うる考えについて伺ふ。

○ ①自立相談支援センターの相談支援体制強化を図るため、受託先である社会福祉協議会へ相談支援員の増員を要請しており、各種交付金の活用を含め協議を進めている。②新生児臨時給付金は、本市の特別定額給付金の対象とならなか

った令和2年4月28日から3年4月1日に生まれた同年生の子どもとしていることから、現時点では事業延長の予定はなない。育児用品の提供事業等を含め、他の自治体の取り組みを研究していく。③中小事業者支援については、現在実施中の市内事業所実態調査の結果や新型コロナ

貸と村言 矢張り一し。

新型コロナウイルスワクチン 接種体制整備について

新拠点ゾーン整備および

庁舎移転建て替えについて

問 新拠点ゾーン整備の目的と今行わなければならない理由、第一段階として区画整理を行う理由は、新庁舎整備にあ

の推進で重視する事柄について同う。

■ 新拠点ゾーン整備は国有地を取得
防災能力向上や松戸駅周辺の賑わい

の拠点とするものである。本市が国有地の取得を望むの意思を示してから6年間の経過しており、早急に主体的に計画的なまちづくりを実現することが重要と考えらる。土地地区画整理事業により公共施設と宅地の整備を総合的、一体的に行うこと

に、被災者の生活の安定を考えたうえで、子どもたちの

「複眼的な視点のまたこくり」

「福祉的な視点のまちづくり」を進める

市民クラブ
末松 裕人

新型コロナウイルス感染症対策で

は国・県・市の役割の重複や対策の相違が混乱を招いた。こうした事態には自治体間連携という視点が求められ、急場での連携が図れる体制等、危機管理の視点が

での広域連携が必要と考えるが見解は。

■ 各自自治体は迅速に独自政策を実施してきたことから、政策の広域連携には

至らなかつた。しかしながら感染拡大防止対策の推進には、千葉県と連携を図る必要性を十分認識していることから、松戸保健所とは頻繁に協議を行いさまざまな検討と意見交換を進めている。

公共施設再編整備における課題の

本質は、将来に向け適切な市民サービスの在り方とそれに見合う施設を維持するための財源確保だと考える。計画の実行性を高めるには、施設の集約化や複合化

など縦割りの組織形態では難しい取り組みの推進が必要と考えるが、それをどう成し遂げることができるのか見解を伺う。

図 公共施設の集約化や複合化を検討する場合、庁内の施設所官課と各種事業計画等との統合的な調整が不可欠であり情報共有等を図るために「公共施設再編

える。外環道や北千葉道路など広域幹線

道路の整備は、本市のさらなる発展を成し遂げる上で千載一遇の機会であり、その効果を全市へ波及させるため戦略的なまちづくりを検討していく。

⑤ デジタル化については「不易と流行」す
教育においては「不易と流行」す
教育行政における

へきかという原点を躍まえて デジタル

化時代における教育行政の在り方をしっかりと構築していただきたいと考えるが、本市の見解を伺う。

◎ 教育のICT化は「より良い学びを実現するための手段」と捉えており、

素晴らしい面が多いが、教育の本質とは異なる面も存在する。今後ICT化による児童生徒への効果や課題等について検証するシステムを新たに模索している。

三二八 司惠

非正規労働者の処遇改善について

ジェンダー平等の観点から非正規労働者の処遇改善を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

◎ ジェンダー平等や男女間の賃金格差は社会的な問題であり、重要な課題と認識している。会計年度任用職員制度の導入にあたっては、制度からの制度マニュアルに準拠し、適正な処遇導入を図り、期末手当の支給や休暇制度等の整備を行った。本制度の今後の運用については、始まってまだ1年目であり、国や近隣自治体の動向を注視していきたい。

少人数学級の取り組みについて

◎ 小学校において国が示す35人学級については、コロナ禍を通してさらに少ない学級にする必要はあるか。また中学校や高等学校へも拡大すべきと考えるが市の見解を伺う。

◎ 教員員の数を増やし、少人数指導を行うことは、一人一人に寄り届いた教育を行う上で重要であり、効果的であるとされている。一方、現状を鑑みると教員や施設の不足等の課題も考えられる。教職員定数の改善計画は基本的には国が主導し実施するものと考えているが、市教育委員会等でも、児童生徒にとってより良い学習環境の提供やスタッフの派遣などが充実できるような、引き続ききずき保に努めていきたい。

コミュニティバス導入について

◎ コミュニティバス導入に向けての課題はあるか。また交通空白地域解消の目標について伺う。

◎ コミュニティバスの導入を考える上で、コミュニティバスの基本方針や役割、導入検討手順等の地域への理解の醸成、地域組織の設立や生活様式変化による利用予測等も新たな課題になると考える。また現在の交通空白地域の解消については、明確な目標は設定していないが、5年程度をかけて各地区の方向性を示し

たいと考えている。

立憲民主党

二階堂

八柱坂南口駅前広場整備の今後のスケジュールについて

◎ 八柱坂南口駅前広場におけるパブリシティ化の平行停車のためのバス停改修等今後の整備スケジュールを伺う。

◎ 現在、交通管理者である千葉県警察本部と協議し、道路の基本的な整備計画を立案するための予備設計を行っている。今後については、令和3年度は地元町会や商店会等に事業説明を行い、道路詳細設計を予定している。4年度は整備に支障となる水道、ガス、電気等の占用企業者と移設工法等の協議、調整を図り、各占用企業者による移設工事の実施後、6年度から本市によるパブリシティ整備工事に着手し早期完成を目指す。

子ども・子育て支援について

◎ 年度途中の小規模保育施設整備による施設入所状況や入所保育児数、また今後の施設整備等について考えを伺う。

◎ 令和2年10月に小規模保育施設が7施設整備され94人が入所し、10月時点の入所保育児数は591人となり、元3年10月時点の834人から減少した。3年度は入所状況等を踏まえながら整備し、連携施設の保育園や幼稚園における保育環境に十分留意した上、保護者の利便性にも考慮し効果的に進めていきたい。

介護保険に係る

人材確保や処遇改善について

◎ 介護職が増えるが、人材確保や処遇改善など利用者の安心に反映されるような市はどのように考えているか。

◎ 令和3年度から、介護報酬が新型コロナウイルス感染症対応に伴う期間限

政策実現フォーラム

増田

現庁舎の災害対策について

◎ 現庁舎周辺が浸水した場合等の災害対策本部の設置や避難所への救護物資等の配付方法および松戸市役所交差点の浸水対策について伺う。

◎ 松戸市地域防災計画では、市庁舎が使用できない場合は、消防局等を災害対策本部とし、救護物資等搬送する際は、避難所へ直達物資を搬送するブッシュ型支援に加え、集積場として松戸運動公園、南部市場、21世紀の森と広域拠点として定める。状況に応じ手段を併用し、必要な車両の通行機能確保に努める。

国庫6号柏原から新拠点をへる折角について

◎ 国庫6号に右折折角を作るために必要な経費と予想される費用を伺う。

◎ 令和3年度に測量を実施し、その後、地権者調査、予備設計等を実施した上で、概算費用を示していきたい。

焼却施設基本構想について

◎ 広域化、建設延長に関して、先送

りせざるを得ないのか、先送りする方がよいと判断したのか、市の見解は。また本市で焼却する場合と他市に焼却を依頼する場合の費用について伺う。

◎ 令和2年4月に通知された循環型社会形成推進交付金交付要項では、ごみ処理の広域化、施設集約化の検討状況を市の計画に記載することや交付要件に追加改正されたことや、第10次千葉県廃棄物処理計画では、本市が広域化の検討対象として示されたことより、新焼却施設基本構想において、引き続き広域化を検討するため、延期の判断をした。また費用は、広域化の検討やその後の規模等の条件がそろい、費用の算出ができる段階になったと示していきたい。

市民力・立憲民主党 山崎 啓之

市役所本庁舎の建て替えについて

◎ 工期や道路浸水の車両の通行機能確保を考慮した上で現地に建て替えは可能であり、事業費削減にもつながると思うが、改めて現地建て替えを含め検討する。また、新拠点ゾーンは十分時間をかけ、本庁舎建て替えは切り離して検討すべきではなかろうか。

◎ 市役所機能の再編整備は、災害対応機能の強化、市民サービスの向上、行政機能の効率化、本市が目指すまちづくりの実現など、多角的な視点から検討する必要がある。立地場所は現市役所敷地と新拠点ゾーンを比較検討した結果を総合的に勘案し、新拠点ゾーンが最適と考える。新拠点ゾーンと市役所それぞれが持つ機能の相乗効果により、新たなまちづくりを計画的に実現していくことが事業を進める上で大変重要と考える。

クリーンセンターの建設について

◎ クリーンセンターの広域化が示されているが、2年間の検討期間におけるロードマップについて伺う。

◎ 現在、ロードマップは作成できていない。1年目に相手自治体と協議を始め、従来の広域化の案を作成し、その後この案を深化しパブリックコメントを実施すること考えている。その都度、進捗状況について議会に報告していきたい。

いじめの問題への対応について

◎ いじめの解消率の目標設定を行う考えがあるか。

◎ 教育委員会としては、いじめの解消率の数値的な目標を設定することよりも、いじめ事業一つを丁寧に扱い、当事者児童生徒の状況を注視していくことが肝要と捉えており、いじめの解消率の目標設定を行うことは考えていない。

無所属 賞輪 信矢

生活保護について

◎ 生活保護を受給できるにもかかわらず申請をしていない家庭への積極的なアプローチを望むが、児童生徒の環境等から制度活用が望まれる家庭を把握するには、どのような方法があるか。

◎ 本市では平成29年度から市独自の「スクールソーシャルワーク事業を開始し、『学校がプラットフォーム』と認識したスクールソーシャルワーカーが家庭の状況等を学校と共有している。また制度活用を必要とされる際には、福祉関係者につなげている。本事業が展開されることにより教育と福祉の連携が図られ、制度活用を必要とする家庭への支援の一助となつていくと認識している。

松戸市議会表彰

令和2年度松戸市議会表彰を行いました。
この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、その功労に報いるとともに市民の郷土愛を育むことを目的としています。

※今年度の表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため取りやめ、3月1日の本会議において、受賞された皆さまを議長から紹介させていただきます。

団体表彰 文化部門 5 団体

市立第六中学校 管弦楽部

第9回日本学校合奏コンクール2020全国大会 グランドコンテスト 金賞

市立小金中学校 吹奏楽部

第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞

市立松戸高等学校 合唱部

第12回東京国際声楽コンクール本選大会 高校生アンサンブル部門 第1位

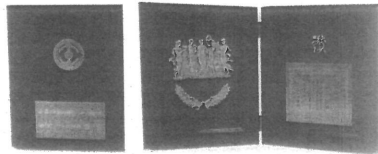
千葉県立小金高等学校 吹奏楽部

第26回日本管楽合奏コンテスト全国大会 高等学校B部門 最優秀賞

聖徳大学附属女子中学校高等学校 書道部

第44回学芸書道全国展 最優秀団体賞

各受賞団体をたたえ記念品として盾を贈呈しました。



人事案件

教育委員会教育長・教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦および固定資産評価員の選任に同意しました。
(敬称略)

●教育委員会教育長

伊藤 純一

●教育委員会委員

中西 茂

●人権擁護委員候補者

森 めぐみ

藪 田 京子

●固定資産評価員

大塚 滋

議会傍聴について

定例会の傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

日	時	議 程
6月8日(火)	招集日・本会議	議案提案理由説明
9日(水)	本会議	(一般質問)
10日(木)	〃	(一般質問)
11日(金)	〃	(一般質問・議案質疑)
14日(月)	〃	(一般質問・議案質疑)
16日(水)	総務財務常任委員会	
17日(木)	健康福祉常任委員会	
18日(金)	教育環境常任委員会	
21日(月)	建設経済常任委員会	
23日(水)	本会議	(議案等の採決)

6月定例会の開催予定

令和3年松戸市議会6月定例会は、6月8日(火)から6月23日(水)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。
諸般・陳情は、5月28日(金) 正午が提出期限です。

マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。
詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

松戸市議会の情報を
ホームページで公開しています

本会議の様子は「インターネット
議会中継」でご覧いただけます。

松戸市議会

検索



議会中継

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。詳細は下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先

松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111

次回発行予定は8月1日(日)です

広報委員会

委員長
副委員長
委員

市川 渡 山 大 篠 戸 中 中 脇 鈴
川 谷 原 口 塚 田 田 張 村 西 野 木
恵 剛 正 正 健 哲 友 典 香 智
一 士 幸 子 児 弥 子 澄 聡 明

※委員の数がありません

編集者の窓

令和3年3月定例会が開催される中、東日本大震災の発生から10年の節目を迎えました。一日も早い復興を祈念すると共に、被災された方々とそのご家族の皆さまに心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。
近年、地震や台風等の自然災害が頻発しており、防災・減災の備えがさらに必要となってきました。また長引く新型コロナウイルス感染症拡大への防止は、喫緊の課題であります。市民の皆さまの命と暮らしを守るため、市議会として、全力で取り組んでまいります。さて本年は大河ドラマ「青天を衝け」が放映され、波沢栄一がパリ万国博覧会で随行した戸定邸のあるじ・徳川昭武に光が当たります。激動の時代を力強く生き抜き、新しい時代を迎えた人々の歴史に学びたいと思います。